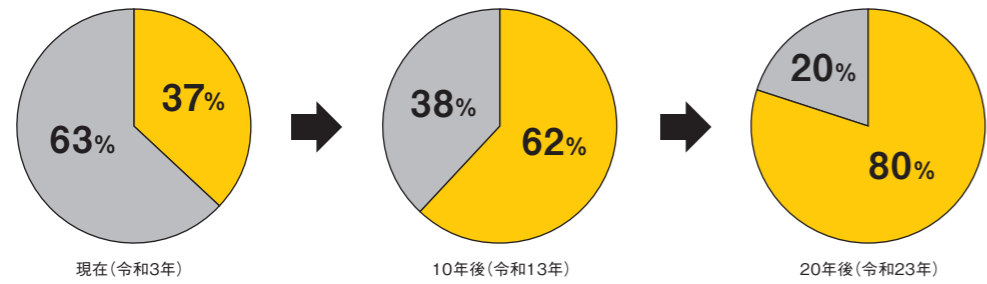


Q. どれくらいの数点を点検しなければならないの？



A. 静岡県では約30,000橋、トンネルは約400本あるんじゃ。
 そのうち、**建設後50年を経過した橋梁は約37%**。
 20年後には約80%の橋梁が50年を経過することになるから、
 まさに**高齢化社会ならぬ老朽化社会**じゃな。

静岡県内の橋梁も老朽化、建設後50年超が37% (橋長2m以上、令和3年3月末時点)



■ 建設後50年を経過した橋梁の割合
 ■ 建設後50年未満の橋梁の割合

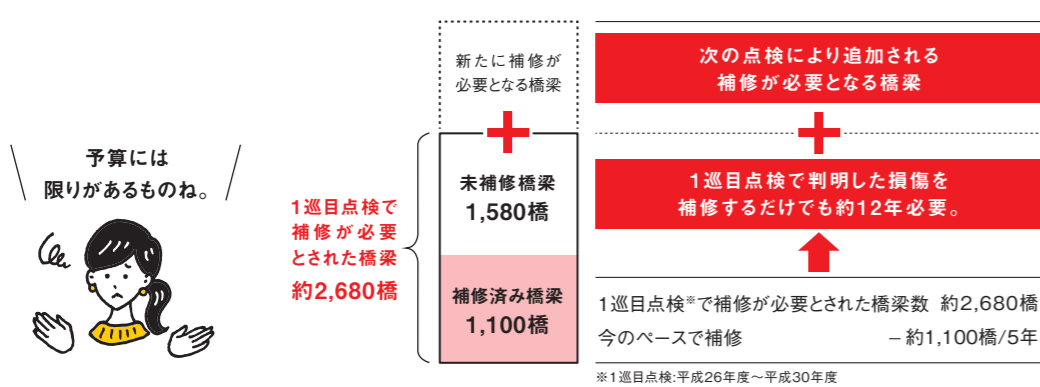


Q. メンテナンスにはどのくらいのお金がかかるの？



A. **平成26~30年度の静岡県内の橋梁補修に要した費用は、約1,100橋で約500億円**かかっておる。過去5年間の点検では**静岡県内で早急に補修が必要な箇所は約2,680橋あり、今後も時間と共にさらに増えていく可能性**があるんじゃ。

静岡県で早期に措置が必要と診断された橋梁の措置状況 (令和2年度末)



職員からみなさんへのメッセージ

静岡国道事務所の管理第二課で道路の点検を担当している佐宗輝倫(さそうてるみち)です。
 平成26年から5年に一度行なうものとしてスタートした点検も2巡目に入りました。軽症であったはずの損傷が進行していることを確認するたび、点検やメンテナンスを継続し快適な道路を保つことの難しさを痛感しています。
 道路利用者が安心して使い続けられる道路であるためにも、みなさまにメンテナンスについてご理解・ご協力いただければ幸いです。



教えて!道路のこと!

道路のメンテナンスの巻

いろいろなところで見かける「道路上の点検」
 安全のためだと思うけど、どんなことをしているのかな?
 「国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所」に聞いてみました。



Q. 最近、道路上で点検しているところをよく見かけるけど何しているの？

A. みんなが道路を安全に使えるよう、**近づいて直接見ることで、日常では気づかないような小さな傷や異常などを見つけている**んじゃよ。
 傷んだ箇所を見つけるのにハンマーで叩いたりもしているのじゃ。



Q. なぜ、一つひとつ細かく点検しているの？

A. **損傷などを早期発見し、軽症のうちにメンテナンス**するためじゃよ。
 人も歳をとるとちょっとした病気や怪我をそのままにしておくと、重症になることがあるじゃろ?
重症になってから直すよりは、橋梁も軽症のうちに直すほうが手間もお金も少なくてすむのじゃ。

軽症 《予防保全》 損傷が軽微なうちに小規模修繕



対策例



重症 《事後保全》 損傷が深刻化してからの大規模修繕

深刻化しないための早期発見が大切じゃ!



対策例



問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
 〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8-1
 TEL.054-250-8900 <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡県中・東部の国道1号、52号、139号の
 防災情報・道路情報をTwitterで発信中!

